

科目名 母性看護学概論	授業担当者 大塚 紀子	所属 中通高等看護学院	
開講時期： 前期～中期	単位数： 1 単位	時間数： 30 時間	
授業の目的 母性に関する概念及び母性看護の対象である母親と子ども及びその家族の特徴を理解し、看護活動を展開するための基礎的知識を学ぶ。			
授業の概要 母性看護の対象や母性とは何かを理解し、その特徴を学び、女性の一生を通じた健康の保持・増進を目指した看護の重要性を感じてほしい。また、母性にかかわる統計と政策、母性を取り巻く社会の現状および課題について学ぶ。授業に際しては、一部 TBL（チーム基盤型学習）とプロジェクト学習を取り入れ進行する。			
受講上の注意・事前学習の内容 TBL に関しては、事前課題を行って臨み、チームで討議しながら、主体的に学ぶこと。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	母性看護の基盤となる概念／母性の発達・成熟・継承	講義	
2	セクシャリティ・リプロダクティブヘルス/ライツ	TBL	
3	母性看護のあり方と倫理	講義・ワーク	
4	母性看護にかかわる指標と推移	TBL	
5	プロジェクト学習ガイダンス・R10で対象を描こう！	プロジェクト学習	
6	母性看護にかかわる法律と施策	TBL	
7	女性のライフサイクルにおける形態機能の変化	TBL	
8	ライフサイクルにおける思春期の健康と看護・性感感染症・中絶	TBL	
9	ライフサイクルにおける更年期の健康と看護	TBL	
10	家族計画と受胎調節(TBL をベースとしたグループワーク)	グループワーク	
11	ドメスティック・バイオレンスに関する法律と支援	講義	
12	児童虐待防止に関する法律と支援	講義	
13	少子化バイバイ、さあ、秋田県のどの地域でも子どもを幸せに育てよう！プロジェクト	プロジェクト学習	
14	プロジェクト学習発表会	プロジェクト学習	
15	プロジェクト学習発表会	プロジェクト学習	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 母性看護学概論 医学書院			
参考書・指定図書 公衆衛生がみえる 2024-2025 第 6 版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験 40%, TBL50%(チーム得点+ピア評価 30% 個人得点 20%) プロジェクト学習 10 点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

プロジェクト学習シラバス

科目名(副題)	母性看護学概論 秋田県、少子化改善プロジェクト！～地域で子どもを幸せに育てるために～
主講師 (ファシリテータ・協力者)	大塚紀子（スーパーアドバイザー：鈴木敏恵先生） （齊藤豊子／中川郁子）
受講対象	2年生
学習概要	<p><背景></p> <p>現在の社会は、少子高齢化社会が進行している。秋田県は少子高齢化率ナンバーワンであり、人口減社会においてよりいういる。秋田県は、2025年の高齢化率は、40.3%となっており、全国1位である。少子化について2024年時点の合計特殊出生率は、全国平均でも1.15と過去最低を更新している。出生数は3302人で、18年連続で減少しており、少子化は進んでいる。</p> <p>その背景として、未婚率が高い、また、子育て世代の人口が少なく、都市に流出している。子育て世代が産む子どもの数が少ないことが考えられる。結婚要因には、地域の経済・雇用環境や保育・子育てサポートが影響し、第2子要因には、地域の経済・雇用環境が明らかになっている。</p> <p>秋田県「少子化要因調査・分析事業」報告書（平成31年3月）「あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト いっしょにねっと」より。</p> <p><プロジェクト学習の展開></p> <p>母性を初めて学ぶ2年生が、以下のようなプロジェクト学習を展開する。</p> <p>市町村には様々な子育て支援に有効な施設やサポートがあるが、「子育て世代」は十分に知らないもしくは、利用しにくい状況がある。また、夫婦の望む子どもの数と実際の子どもの数に違いがあり、子育てしにくいのでは・・・と受けとめ、望む子供の数より少ない現状もある、この現状を踏まえ、次のようなビジョンとゴールの元に、プロジェクト学習を実施していくものである。</p> <p><少子化バイバイ、さあ！秋田県のどの地域でも子どもを幸せに育てよう！プロジェクト></p> <p>将来親になる可能性がある自分（看護学生）、その自分の地域の少子化対策や社会資源の現状を調査し、事例の子育て世帯に必要な社会資源を使い、安心して子産み子育てできる環境を考える。少子化を一刻も早く改善させるべく、子育て世代が活用できる地域の母子保健サービスを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ビジョン（願い）：秋田県に暮らす「子育て世代」をサポートしたい * ゴール（具体的な目標）：秋田県の少子化を改善させる地域の母子保健サービスを提案します！ <p><社会的意義></p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域から若い世代が流出することを低減できる * 働きながら子育てする人たちに貢献できる * 少子化の要因の一つとも言える「地域の子育て環境の現状」を明確にすることで今後の環境改善や行政の方向性などに貢献できる
キーワード	子育て、支援、地域、プロジェクト学習

